

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団  
令和4年度第4回理事会議事録

1 招集年月日

令和5年3月13日（月曜日）

2 開催日時

令和5年3月29日（水曜日）午前10時00分から午後0時00分まで

3 開催場所

社会福祉法人東京都社会福祉事業団事務局第一会議室

※Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席

4 出席者（※Web会議システムによる外部会場からの出席者）

(1) 理事総数 9名

出席理事 6名

理事 山 岸 徳 男

理事 和 氣 康 太※

理事 廣 川 理 恵 子

理事 田 中 公 彦※

理事 佐 野 宏 子

理事 林 直 樹※

(2) 監事総数 2名

出席監事 2名

監 事 齊 藤 一 紀※

監 事 石 村 光 代※

5 議長

理事長 山 岸 徳 男

6 議事録作成者

理事長 山 岸 徳 男

7 議 題

(1) 決議事項

第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団就業規則の一部改正(案)  
について

第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団職員給与規程の一部改正  
(案) について

第3号議案 令和4年度第四次補正予算(案) について

第4号議案 令和5年度事業計画(案) について

第5号議案 令和5年度予算(案) について

第6号議案 令和5年度の契約案件について

第7号議案 評議員候補者の推薦(案) について

- 第8号議案 評議員選任・解任委員の選任（案）について
- 第9号議案 施設長の任免（案）について
- 第10号議案 評議員会の招集（案）について

(2) 報告事項

- ア 施設利用実績について
- イ 令和4年度予算の流用及び予備費の使用について
- ウ 令和5年度職員採用選考の状況について
- エ 令和5年度の施設運営体制について
- オ 「立川療護園 はごろもの音」の竣工・開設について
- カ コンプライアンス委員会について

※ 以下の「8 議事の経過の要領及びその結果」における発言者は「出席者」と表記している。(理事長、業務執行理事、片瀬学園の園長である理事及び監事の職責としての発言をした場合の監事を除く。)

8 議事の経過の要領及びその結果

- (1) 第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団就業規則の一部改正（案）について

議長の求めに応じ、事務局から、配偶者同行休業制度及び自己啓発等休業制度の導入に伴う改正等について説明があった。

その後、議長が各役員に対し、質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

- 出席者から、自己啓発等休業制度について、「大学等での休業」と「国際貢献活動」以外に、「これらに準ずる事由として理事長が認めるもの」を入れなくてよいかとの質問があり、事務局から、自己啓発等休業制度は、国制度と同様、大学等における就学と国際貢献活動に絞って限定的に認めることとしているとの回答があった。

さらに、出席者から、海外の同じ種別の施設で仕事をするなど、多様な自己啓発があり、理事長が特に認めるものなどを入れることで、より幅が広がるのではないかとの意見があり、山岸理事長から、運用の中で配慮しながら進めていきたいとの回答があった

質疑応答の後、第1号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

- (2) 第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団職員給与規程の一部改正（案）について

議長の求めに応じ、事務局から、勤勉手当の支給率の改正及び配偶者同行休業制度・自己啓発等休業制度の新設に伴う給与の取扱いを定める改正について、説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ特になかったため、第2号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(3) 第3号議案 令和4年度第四次補正予算（案）について

議長の求めに応じ、事務局から光熱費等の高騰、新型コロナウイルス感染症対応に伴う人件費の増、寄附寄託金品受入れ等に伴う補正予算及びその説明資料について説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ特になかったため、第3号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(4) 第4号議案 令和5年度事業計画（案）について

議長の求めに応じ、佐野業務執行理事から、令和5年度事業計画（案）について説明があった。

その後、議長が各役員に対し、質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

- 出席者から、全体を通して、ポイント・論点を踏まえた事業計画になっているが、説明資料の見出しタイトルが「社会需要を見通した施設の改築・改修」、説明が「多様なニーズ」とした部分について、統一してはいかがかとの意見があり、佐野業務執行理事から、多様なニーズの部分は、ソフト面での対応という意味で記載しているが、より分かりやすい表現にしていきたいとの回答があった。

質疑応答の後、第4号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(5) 第5号議案 令和5年度予算（案）について

議長の求めに応じ、事務局から光熱費等の高騰、新型コロナウイルス感染症対応に伴う人件費の増、寄附寄託金品受入れ等に伴う補正予算及びその説明資料について説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ特になかったため、第5号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(6) 第6号議案 令和5年度の契約案件について

議長の求めに応じ、事務局から、東村山福祉園における給食等業務委託及び建物管理業務委託契約について説明があった。

その後、議長が各役員に対し、質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

○ 出席者から、提案理由について、「委託期間満了に伴い」という内容を加えた方が分かりやすいとの意見があり、事務局より、次回以降、表現を工夫したいとの回答があった。

さらに、出席者から、現行業者と新規契約業者との金額の差について質問があり、事務局から、人件費の上昇について回答があった

○ 出席者から、入札金額が税抜きで記載されているが、税込み金額にすることを検討いただきたいとの意見があり、事務局から、東京都の契約手続に準じた対応としているため、都へ照会し、対応について検討したいとの回答があった。

質疑応答の後、第6号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(7) 第7号議案 評議員候補者の推薦（案）について

第8号議案 評議員選任・解任委員の選任（案）について

第9号議案 施設長の任免（案）について

議長の求めに応じ、事務局から説明があった。

その後、議長が各役員に対し、質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

○ 出席者から、施設長の任免について、現行の施設長の異動等について質問があり、事務局から、東京都への異動や勤務の継続等について回答があった。

質疑応答の後、第7号議案から第9号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(8) 第10号議案 評議員会の招集（案）について

議長の求めに応じ、事務局から説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ特になかったため、第10号議案について議長が賛否を諮り、全員の賛成をもって、理事会の承認を得た。

(9) 報告事項

山岸理事長から、社会福祉法第45条の16第3項の規定に基づき、職務執行状況について、報告があった。詳細については、佐野業務執行理事から、「施設利用実績について」、事務局から、「令和4年度予算の流用及び予備費の使用について」、「令和5年度職員採用選考の状況について」、「令和5年度の施設運営体制について」、「立川療護園 はごろもの音」の竣工・開設について」及び「コンプライアンス委員会について」、資料に従い、説明があった。

その後、議長が各役員に対し、質問・意見を募ったところ、次の質問があった。

<その他事案報告について>

- 出席者から、職員の採用状況について、一般選考1回目の申込者は、契約職員が正規職員に申込みをしたものかとの質問があり、事務局から、新卒の学生の応募であるとの回答があった。

さらに出席者から、契約職員からの正規職員への登用の状況について質問があり、事務局から、契約職員での採用もあるが、社会的に職員採用が厳しい状況もあり、当初から正規職員での採用を行っているとの回答があった。

- 出席者から、施設運営体制について、経営理念で東京都のセーフティネットを担うとうたっており、東京都の障害者の生活の場が十分に確保できない状況もあるため、事業団は体制を整え、受入れを推進してほしいとの意見があった。

- 出席者から、職員採用について、人材不足の中、事務局の新しい戦略により採用が増えるなど好転しているので、採用者のモニタリングを行い、定着に繋げてほしいとの意見があった。

さらに、出席者から、コンプライアンス委員会について、報告があったサービス事故への事業団としての対応方針について質問があり、事務局から、コンプライアンスは法令遵守以上に広い概念で政策連携団体には課せられていると認識しており、事案の背景や状況等を勘案の上、厳正に処分を行っていくとの回答があった。

- 出席者から、過去の不適切事案にかかる職員の状況について質問があり、事務局から、複数体制で支援する部署への異動や、様々な研修や振り返りを行い、徐々に支援に戻すケースが多いとの回答があった。

以上、議長は議事がすべて終了した旨を告げ、午後0時00分に閉会した。